

2027年度

学 生 募 集 要 項

尾道市立大学大学院（修士課程）

美 術 研 究 科

尾道市立大学

尾道市立大学大学院 美術研究科

教育理念・目的

美術研究科の教育理念は、個々人の資質を尊重し、それぞれの学生が表現者としての立脚点と方向性を模索しながら、研究科教員と学生とのコミュニケーションを軸に、自己表現へ向けた研究を展開させていくことです。このような教育理念のもと、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。

1. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

所定修了単位の修得と、修了制作および副論文を提出し審査に合格することに加え、下記の能力を身につけた学生に対して「修士（美術）」を授与します。

- ①広い視野と高度な専門性を活かして、継続的に創作活動を展開する能力
- ②自己表現の可能性を探究し、作品として結実させる能力
- ③自らの作品や創作活動を社会に向けて発信し、その意義を客観的に見定める能力

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

美術研究科は、学位授与の方針に掲げる学修成果を達成するために、以下の方針で教育課程を編成します。

- ①各研究分野において、高度な専門性と、自己表現の可能性を追求するために、学生が研究計画を立て、自律的に制作を行う専門実習科目を各年次に配置します。
- ②継続的な創作活動に資する広い視野を獲得するために、基礎理論科目と専門演習科目を配置します。
- ③研究成果の発表の場として、2年次の前期に進級制作展、研究の集大成を発表する修了制作展の機会を組み込みます。
- ④自らの制作や作品を客観的に見定める能力を培うために、すべての科目においてプレゼンテーションやディスカッションを重視します。

3. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

美術研究科は、研究科の教育理念・目的に基づき、以下のような人を求めています。

- ①専門分野の基礎的な知識や技術を修得し、様々な分野の考え方や理論を吸収した上で、それらを展開して自己表現に結びつけることができる。〔提出作品、実技試験、小論文〕
 - ②自ら課題を発見し、その解決方法を模索した上で、研究テーマを明確に設定し、表現の可能性を持続的に探究できる。〔小論文、面接試験（研究計画書を含む）〕
 - ③研究成果を社会に向けて継続的に発信し、他者との関わりの中で自らの表現力や創造性を高めることができる。〔面接試験（研究計画書を含む）、日本留学試験「日本語」〕
- 〔 〕内は対応する入学者選抜における評価を示します。

目 次

I	美術研究科の概要	1
II	募集人員	2
III	出願資格	2
IV	出願手続	3
1	出願書類および入学検定料	3
2	出願方法	4
3	事前出願資格審査	4
4	障害等のある入学志願者との事前相談	4
5	出願に関するその他の事項	5
V	選抜の方法	5
VI	選抜試験	6
VII	合格発表	8
VIII	入学手続	8
IX	授業科目の概要	10
X	尾道市立大学へのアクセス	11
XI	研究指導スケジュールと研究指導概要	12

I 美術研究科の概要

1 理念・目的

美術研究科の教育理念は、個々人の資質を尊重し、それぞれの学生が表現者としての立脚点と方向性を模索しながら、研究科教員と学生とのコミュニケーションを軸に、自己表現へ向けた研究を展開させていくことです。このような教育理念のもと、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。

2 教育課程の特色

- (1) 各研究分野において、学生が研究計画を立て自主的に作成を行う専門実習科目を各年次に配置し、高度な専門性と自己表現の可能性を追及する能力を養います。
- (2) 基礎理論科目と専門演習科目を配置し、継続的な創作活動に資する広い視野を獲得させます。
- (3) 2年次前期に進級制作展、修了時に研究の集大成である修了制作展を研究発表の場として組み込み、社会に向けて発信する能力を養います。
- (4) それぞれの科目においてプレゼンテーションやディスカッションを重視し、自らの制作活動や作品を客観的に見定める能力を培います。

3 研究分野

(1) 絵画研究分野

絵画研究分野では、日本画と油画に関する制作・研究を行います。

- ・ 日本画では古典作品の表現、技法および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図ります。
- ・ 油画では、創作活動の充実を図るため各自のテーマを踏まえ、独自の絵画表現を追求し、また必要となる技法や素材の研究をします。

(2) デザイン研究分野

デザイン研究分野では、学生の研究テーマに合わせ、それぞれの指導教員の研究分野を軸に対応します。

現代の社会構造への広い視野をもとに、柔軟且つ冷静な洞察力の獲得と、訴求性のある表現力の育成を目的としています。

Ⅱ 募集人員

美術研究科（修士課程）入学生を次のように募集します。

研究科名	専攻名	募集人員	備考
美術研究科	美術専攻	12名	募集人員は、社会人および外国人留学生を含む。

Ⅲ 出願資格

1 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および短期大学または高等専門学校の専攻科を2027年3月までに修了見込みの者で、同年3月同学位を取得見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において22歳に達する者（事前出願資格審査対象 注を参照）
（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者その他の教育施設の修了者等）
- (6) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（事前出願資格審査対象 注を参照）

2 出願における社会人の定義

- (1) 2027年3月31日現在において、大学卒業後2年以上経過している者および出願資格1の(4)に該当することとなった後2年以上経過している者
- (2) 現職教員（教諭一種免許状取得者または2年以上の経験を有する者）
- (3) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（事前出願資格審査対象 注を参照）

3 外国人留学生の定義

日本国籍および日本における永住資格を有しない者で、次の各号のいずれかに該当し、日本語能力試験の試験成績においてB2以上と参考表示されていて、留学を継続するための経費支弁能力を有する者

- (1) 出願資格1の(3)に該当する者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2026年度（令和8年度）日本留学試験において「日本語」を受験している者
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
- (3) その他本学大学院において、上記(1)、(2)と同等以上の学力があると認めた者（事前出願資格審査対象 注を参照）

注) 出願資格1の(5)(6)、2の(3)、3の(3)に該当する者は、事前に出願資格の審査を行う必要がありますので、尾道市立大学大学院事務局に問い合わせてください（4ページ参照）。

事前出願資格審査の受付期間

2026年12月 1日（火）から12月 8日（火）まで

Ⅳ 出願手続

1 出願書類および入学検定料

書類等の名称	提出該当者	摘 要
①入学試験志願票	全 員	本学所定の用紙に記入してください。社会人および外国人留学生は裏面の履歴書も記入してください。
②受験票・写真票 (兼領収書)	全 員	本学所定の用紙に記入してください。受験票と写真票の写真は、必ず同じものにしてください。
③卒業（見込）証明書	出願資格1の(1)(3) (4)に該当する者	出身大学長または学部長が作成したものを提出してください。
④学位授与証明書	出願資格1の(2) に該当する者	大学評価・学位授与機構が作成したものを提出してください（欄外の注を参照）。
⑤成績証明書	全 員	出身大学（長）または学部（長）が作成し、厳封したものを提出してください。
⑥研究計画書	全 員	本学所定の用紙（様式1）に記入し、提出してください。
⑦提出作品	全 員	作品の提出は、全研究分野に課せられます。 「作品提出等について」（7ページ）に従ってください。
⑧日本語能力試験の成績 証明書	出願資格3に 該当する者	成績証明書を提出してください。
⑨日本留学試験「日本語」 の成績確認書	出願資格3の(1) に該当する者	2026年度（令和8年度）日本留学試験の成績確認書を提出してください。
⑩住民票の写し等	外国人留学生	日本に在住する者は、市区町村発行の「住民票の写し」（在留資格、在留期間明記のもの）を、それ以外の者は旅券の写しを提出してください。 ※「住民票の写し」は交付された原本を提出してください。
⑪入学検定料 30,000円 (外国人留学生は、 15,000円)	全 員	郵便局で30,000円分の『普通為替証書』の発行を受け、入学試験志願票その他の提出書類と一緒に提出してください。なお、「受取人指定欄」および受取人の「ところ」、「名前印」の箇所には、何も記入しないでください。
⑫返信用封筒 (受験票等返送用)	全 員	本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、定形50g+速達分の切手を貼ったもの。

注1) 出願資格1の(2)に該当する者のうち、既に学位を授与された者にあつては学位記の写し、授与見込みの者にあつては在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校専攻科の修了見込証明書および学位を授与する予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書を提出してください。

2) 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

2 出願方法

出願は所定の出願用封筒を用い、「簡易書留速達」扱いの郵便または直接持参により提出してください。直接持参の場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。

(1) 願書受付期間および提出先

受付期間 2027年 1月 4日(月) ～ 1月12日(火)(必着)

提出先 〒722-8506
広島県尾道市久山田町1600番地2
尾道市立大学大学院 事務局
電話 (0848) 22-8311(代)
(0848) 22-8381(直)

(2) 留意事項

- ① 出願手続が完了した者の出願書類および入学検定料は返還できません。
- ② 社会人および現職教員等にあつては、入学手続の際、就学許可書(様式5)を提出しなければなりません。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受理できません。
- ④ 出願手続が完了した者へは、受験番号を記載した受験票を速達で送付します。受験票が届かない場合は、尾道市立大学大学院事務局に問い合わせてください。

3 事前出願資格審査

出願資格1の(5)(6)、2の(3)、3の(3)に該当する者のみ必要です(2ページ参照)。

(1) 事前出願資格審査の内容

提出書類により審査を行います。

(2) 入学資格確認のための提出書類

- ① 入学試験志願票(本学所定用紙)
裏面の履歴書も記入してください。
- ② 入学試験資格審査申請書(様式4)
- ③ 最終卒業学校の卒業(見込)証明書と成績証明書
- ④ 学習歴の証明書(卒業(修了)証明書、成績証明書)
審査のため、高等学校卒業後のすべての学習歴(短期大学、専門学校等)の証明書
- ⑤ 実務・活動歴、資格等を証明する書類
勤務先の長が証明した、研究内容・従事期間が明記され、研究内容が客観的に判断できる証明等。
種類、様式は自由です。

4 障害等のある入学志願者との事前相談

受験上特別な措置および修学上特別な配慮を必要とする者は、尾道市立大学大学院事務局へ出願の前に相談してください。

事前相談受付の期限 2026年12月 1日(火)まで

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

5 出願に関するその他の事項

- (1) 出願について不明な点は、尾道市立大学大学院事務局に照会してください。
電話 (0848) 22-8311 (代)
(0848) 22-8381 (直)
- (2) 募集要項を請求するときは、表に「美術研究科 大学院学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号、郵便番号・住所・氏名を明記し、定形外・規格内500g(速達の場合は+相当料金)分の切手を貼ったもの)を同封し、請求してください。
- (3) 出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報および入学試験の成績や結果に関する個人情報は、「尾道市立大学における個人情報の取扱い及び管理に関する規程」に基づき適正な管理を行います。これらの個人情報は、入学者選抜業務のほか教育的な目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

V 選抜の方法

実技、小論文、面接（出願書類を含む）の結果および提出作品を総合して選考を行います。
可否判定は総合成績の6割以上を基準とします。

研究分野等		試 験 科 目 等		配 点
絵 画 研 究 分 野	日本画	提出作品	・50号2点（1年以内に制作した未発表のものに限ります。） ・作品ファイル *スケッチブック（エスキース・作品プラン）提出可 *50号（116.7 cm×116.7 cm～72.7 cm）	100
		実 技	人体素描 【持参用具】鉛筆デッサン用具一式、フィキサチーフ（定着液）	70
		小 論 文	600字以内	40
		面 接		40
	油 画	提出作品	・2点以内（1年以内に制作した未発表のものに限ります。） ・作品ファイル *ドローイングブック（エスキース・作品プラン）提出可	100
		実 技	素描（単色、白黒表現） 【持参用具】描画材料自由、フィキサチーフ（定着液）	50
		小 論 文	800字以内	25
		面 接		75

デザイン研究分野	提出作品	・自分で持ち運びのできる作品5点以内。(立体作品を含む、組作品は1点とみなします。) ・作品ポートフォリオ (紙媒体あるいはPDF ファイル) ※映像メディアの作品は、各作品を3分以内にまとめ、以下の指定した形式に沿ってUSBフラッシュメモリーに保存し、受験番号と氏名を記入したシールなどを貼り付けて提出すること。 ファイル形式：MP4またはMOV 映像・音声コーデック：H.264またはH.265、AAC 解像度：最大 1920px×1080px フレームレート：23.976fps/24fps/29.97fps/30fpsのいずれか 作品はmacOS/QuickTime Playerの環境で再生できること。	50
	実 技	出題されたテーマを元にアイデアスケッチ (面接時にアイデアスケッチを元にプレゼンテーションを行います。) 【持参用具】なし ※本学が用意します。	50
	小 論 文	1, 200字以内	50
	面接及びプレゼンテーション	面接と合わせて実技のアイデアスケッチを元にプレゼンテーションを行います。	100

*用紙、イーゼル、カルトンは本学で用意します。

Ⅵ 選抜試験

(1) 試験日および試験会場

試 験 日	試 験 会 場
2027年 1月31日 (日)	尾道市立大学

(2) 選抜試験時間割と内容

研究分野等	試 験 日	試 験 科 目 等	
絵画研究分野・デザイン研究分野	1月31日 (日)	作品提出	8:30 ~ 9:00
		実 技	9:15 ~ 12:15
		小 論 文	13:30 ~ 15:00
		面 接	15:30 ~

(3) 作品提出等について

提出 2027年 1月31日(日) 8:30 ~ 9:00

返却 2027年 1月31日(日) 面接終了後

- ① 提出にあたっては、所定の「提出作品用紙」(様式2) 添付用を作品に貼り、「提出作品用紙」(様式3) 申告用を作品提出時に本学美術研究科担当教員に提出してください。
- ② 作品の提出および返却は、下記に指定した日時に、必ず本人が立ち会ってください。
(引き取りのない作品等については、責任がもてないので十分留意してください。)
- ③ 本学学部在学学生以外の受験者で、当日提出が難しい場合は事前相談の上、
1月21日(木) 17:00までに提出してください。

研究分野等		提出作品、提出および返却時間等		
		場 所		提出作品
絵画研究分野	日本画	提出	D棟3階	・50号2点（1年以内に制作した未発表のものに限ります。） ・作品ファイル ※スケッチブック（エスキース・作品プラン）提出可 ※50号（116.7 cm×116.7 cm～72.7 cm）
		返却	面接終了後、指示します。	
	油 画	提出	D棟4階	・2点以内（1年以内に制作した未発表のものに限ります。） ・作品ファイル ※ドローイングブック（エスキース・作品プラン）提出可
		返却	面接終了後、指示します。	
デザイン研究分野	提出	D棟2階	・自分で持ち運びのできる作品5点以内。（立体作品を含む、組作品は1点とみなします。） ・作品ポートフォリオ（紙媒体あるいはPDF ファイル） ※映像メディアの作品は、各作品を3分以内にまとめ、以下の指定した形式に沿ってUSBフラッシュメモリーに保存し、受験番号と氏名を記入したシールなどを貼り付けて提出すること。 ファイル形式：MP4またはMOV 映像・音声コーデック：H.264またはH.265、AAC 解像度：最大 1920px×1080px フレームレート：23.976fps/24fps/29.97fps/30fpsのいずれか 作品はmacOS/QuickTime Playerの環境で再生できること。	
	返却	面接終了後、指示します。		

(4) 受験上の注意事項

- ① 筆記試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ② 試験時間中に体調不良になった場合、一時退出や中断を認めます。ただし、時間の延長は行いません。また、すべての試験を受験した者について可否判定をします。
- ③ 「受験票」を忘れないように必ず持参してください。
- ④ 筆記試験時間中に机の上に置いてよいものは、筆記用具(黒の鉛筆またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能のみのもの)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)です。
- ⑤ 実技検査の作品は返還しません。
- ⑥ 試験会場およびその付近に食堂はありませんので、必ず昼食を持参してください。
- ⑦ 選抜試験はオンラインでは実施しません。

Ⅶ 合格発表

2027年 2月 5日（金） 午前10時

大学の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
ホームページ（<https://www.onomichi-u.ac.jp/>）による合格発表も行いますが、あくまで補助的な手段なので、大学から郵送される合格通知書を必ず確認してください。
電話による可否の問い合わせには、一切応じません。

Ⅷ 入学手続

（1）入学手続期間

2027年 2月 8日（月）～ 2月26日（金）午後5時まで（必着）

（2）入学手続の方法

- ① 合格通知書とともに送付する「入学手続要領」の説明を参照してください。
- ② 手続期間内に入学手続書類の提出と入学料の納入が行われることで、入学手続が完了します。
- ③ 入学料は合格通知書とともに送付する納付書に必要事項を記入し、手続期間内に最寄りの金融機関の窓口で振り込んでください。
- ④ 書類の提出は、郵送または直接持参によって行ってください。なお、直接持参の場合の受付時間は平日の午前9時から午後5時までとします。
- ⑤ 入学手続先 〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
尾道市立大学大学院 事務局
電話（0848）22-8311（代）
（0848）22-8381（直）

- ⑥ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。

（3）入学手続時納付金

区 分	入 学 料	対 象
市 内	282,000円	次のいずれかが尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者 ・本人 ・本人の配偶者または1親等の親族
市 外	423,000円	上記以外の者

*外国人留学生の入学料は、市外の金額の1/2に減額されます。

*入学料は前年度の金額です。

*本学学部生（卒業生を含む。）が入学する場合の入学手続時納付金については、上記入学料から282,000円を控除した額とします。

(4) 入学手続に必要な書類

- ① 誓約書
- ② 卒業証明書または修了証明書
入学手続時に卒業見込みまたは修了見込みの者は、2027年3月26日（金）までに提出してください。
- ③ 住民票の写し（交付された原本）
入学手続時納付金の区分において、市内に該当する者のみ提出してください。
- ④ 就学許可書（様式5）
学校・官公庁・会社等に在職中の者のみ、提出してください。

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 必要な手続を期間内に行わない場合には、本学への入学を辞退したものとして取扱います。
- ② いったん受理した入学手続書類および納付金は、いかなる理由があっても返還できません。
- ③ 入学手続を完了した後、入学を辞退する者は、入学辞退届（様式自由。辞退理由を明記の上、署名、捺印のこと）を尾道市立大学大学院事務局へ提出してください。

(6) 諸経費その他

入学後に必要となる経費

項 目	金 額	備 考
① 授 業 料	535,800円 [年 額]	4月、10月に分けて納入
② 学生教育研究 災害傷害保険料	2,430円 [2年分]	4月に納入
③ 後援会入会金	10,000円	
④ 後 援 会 費	50,000円 [年 額]	

*外国人留学生の授業料、後援会入会金、後援会費は上記の金額の1/2に減額されます。

*以上は前年度の金額です。

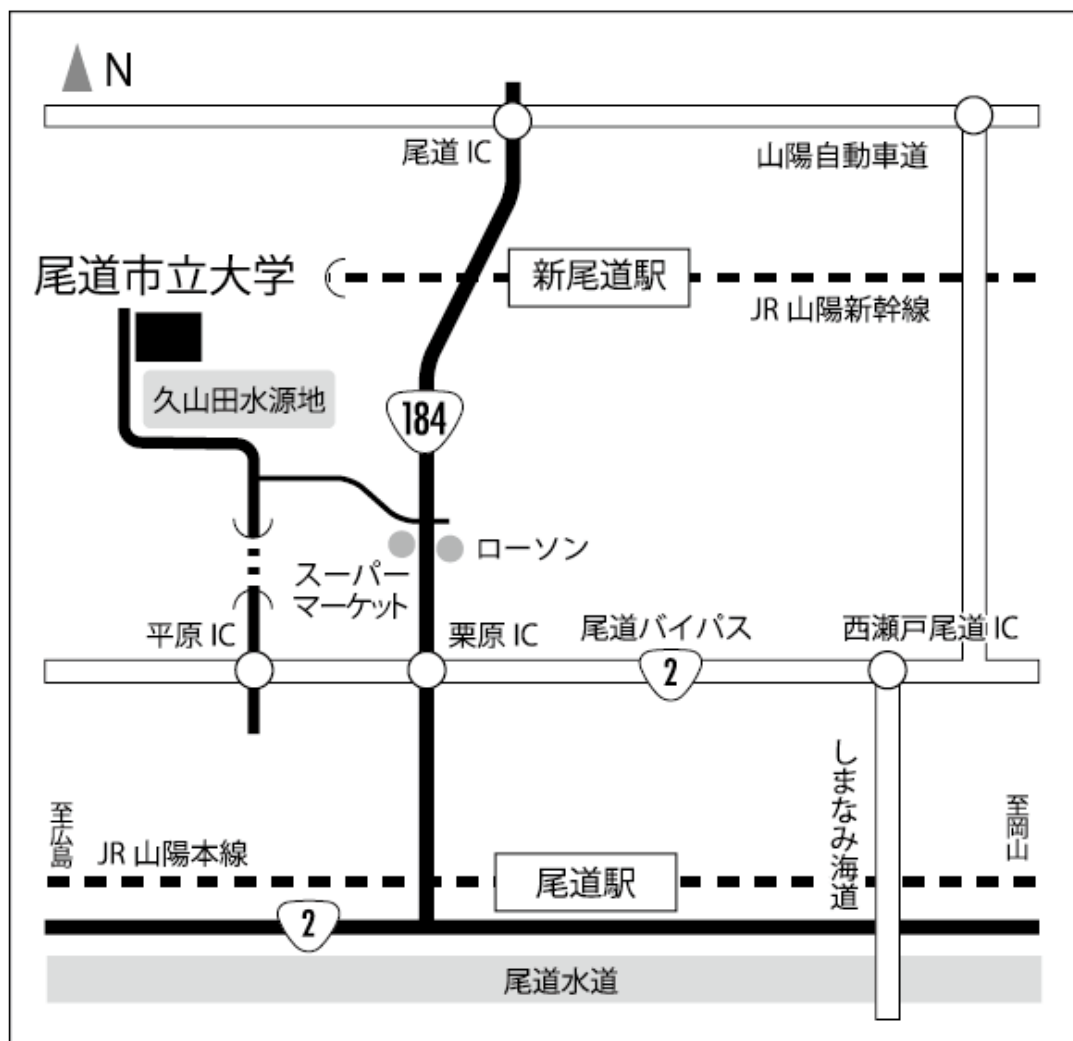
Ⅸ 授業科目の概要

(2027年度 開講予定科目)

授業科目の名称		担当教員	配当年次	必修・選択	単位	備考
基礎理論科目	美学(芸術学)特講	西嶋 亜美	1・2	選択	4	12単位以上
	美術史特講(日本)	市川 彰	1・2	選択	4	
	美術史特講(西洋)	西嶋 亜美	1・2	選択	4	
	芸術論特講Ⅰ	富岡 采花*	1・2	選択	2	
	芸術論特講Ⅱ	山田 由紀*	1・2	選択	2	
	デザイン学特講	林 宏	1・2	選択	4	
専門演習科目	日本画材料技法演習	村岡 貴美男*	1・2	選択	2	2単位以上
	絵画総合演習	小野 環 稲川 豊 橋野 仁史 西村 有未	1・2	選択	2	
	デザイン総合演習	伊藤 麻子	1・2	選択	2	
専門実習科目	日本画研究AⅠ	中村 譲	1	選択	8	16単位以上
	日本画研究AⅡ	中村 譲	2	選択	8	
	日本画研究BⅠ	鈴木 恵麻 山梨 千果子	1	選択	8	
	日本画研究BⅡ	鈴木 恵麻 山梨 千果子	2	選択	8	
	油画研究AⅠ	橋野 仁史 西村 有未	1	選択	8	
	油画研究AⅡ	橋野 仁史 西村 有未	2	選択	8	
	油画研究BⅠ	小野 環 稲川 豊	1	選択	8	
	油画研究BⅡ	小野 環 稲川 豊	2	選択	8	
	デザイン研究Ⅰ	林 宏 勝目 祥二 井村 和寛 伊藤 麻子 黒田 教裕 西原 美彩	1	選択	8	
	デザイン研究Ⅱ	林 宏 勝目 祥二 井村 和寛 伊藤 麻子 黒田 教裕 西原 美彩	2	選択	8	

*印は兼任講師

X 尾道市立大学へのアクセス



尾道市立大学への交通

J R 山陽本線尾道駅より

駅前バスターミナル（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20～40分、「尾道市立大学」下車。

J R 山陽新幹線新尾道駅より

南口（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約15分、「尾道市立大学」下車。タクシー利用で約10分。

自家用車で送迎の場合、尾道バイパス・平原IC経由が便利です。

Ⅺ 研究指導スケジュールと研究指導概要

絵画研究分野（日本画）

年次・時期	研究指導スケジュール		研究指導概要
	日本画研究 A	日本画研究 B	(指導教員を中心にその都度指導を行う)
1 年次	前期；自主制作 後期；自主制作	前期；古典模写 後期；自主制作	
4 月	新入生オリエンテーション		大学院での履修全般、年間制作点数、講評・提出等スケジュールを説明する。
	指導教員と副指導教員を決定		指導教員は院生からの相談に助言する。
	年間を通した方向性を検討	古典模写の模本選択	指導教員とのディスカッションを通じて確認・助言する。
	履修計画・研究計画の作成・提出		指導教員とのディスカッションを通じて指導する。
	適宜進捗状況を確認し、意見交換・指導等を行う。		その上で日本画研究 A・Bともに「研究指導計画書」に研究題目と研究計画を記入し、研究科長に提出する。
4～8 月	作品制作の遂行	古典模写研究の遂行	適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
	(日本画材料技法演習の受講)		
前期終了時	講評		プレゼンテーションと意見交換等を行う。
	自主制作作品（3 点）講評	古典模写（1 点）講評	*常勤教員 1 日、非常勤教員 1 日
9～1 月	自主制作の遂行		適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
12 月	(小林和作奨励賞の応募)		*希望者が応募する。
後期終了時	講評		プレゼンテーションと意見交換等を行う。
			*常勤教員 1 日、非常勤教員 1 日
2 年次	前期；自主制作 後期；修了制作	前期；修了古典模写 後期；修了制作	
4 月	在学生オリエンテーション		大学院 2 年次での履修全般、年間制作点数、講評・提出等スケジュールを説明する。
	指導教員と副指導教員を決定		指導教員は院生からの相談に助言する。
	年間を通した方向性を検討	修了古典模写の模本選択	指導教員とのディスカッションを通じて確認・助言する。 *絹本等特殊な素材を使用する場合、指導教員を通じて裏打ち講義の担当教員に相談すること。
	履修計画・研究計画の作成・提出		指導教員とのディスカッションを通じて指導する。
	適宜進捗状況を確認し、意見交換・指導等を行う。		その上で日本画研究 A・Bともに「研究指導計画書」に研究題目と研究計画を記入し、研究科長に提出する。
4～8 月	副論文指導		副論文執筆から提出までのスケジュール等を確認・指導する。
	作品制作の遂行	修了古典模写研究の遂行	適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
6 月	進級制作展（大学美術館）		1 年次の制作活動を展示やプレゼンテーションを含む講評によって振り返り、今後の制作の方向性等を再検討する。 *事後に個別面談の機会を設定する。
前期終了時	講評		プレゼンテーションと意見交換等を行う。
	自主制作作品（3 点）講評	修了古典模写（1 点）講評	*常勤教員 1 日、非常勤教員 1 日
9 月	修了制作下図研究会		修了制作の下下図（作品の縮小エスキース）により、制作に際しての方向性や注意点等を指導教員とのディスカッションを通じて指導する。
9～1 月	修了制作の遂行 大下図、本画研究会の実施		大下図、本画研究会の実施により進捗状況を確認し、プレゼンテーションと意見交換等を行う。
9～12 月	副論文指導		進捗状況に応じて副論文の執筆を指導する。
12 月	修了制作・修了模写の 1 次提出		所定の提出日（12 月末頃）までに提出を求め、指導教員による審査を行う。
1 月	修了制作・修了模写の最終提出		所定の提出日（1 月中旬頃）までに提出を求め、指導教員による審査を行う。
	副論文提出		所定の提出日（1 月下旬頃）までに提出を求め、美術理論担当教員及び指導教員が審査する。
2 月	修了制作展（大学美術館）		作品展示、ギャラリートークに関して助言等を行う。
3 月	修了判定 学位（修士）の授与		

* 2 年間での修了のケースを示しています。

絵画研究分野（油画）

年次・時期	研究指導スケジュール	研究指導概要
	油画研究 A 油画研究 B	(指導教員を中心にその都度指導を行う)
1 年次	前期；自主制作 後期；自主制作	
前期 4 月	新入生オリエンテーション	大学院での履修全般、授業内容、講評・年間スケジュールの説明。
	指導教員と副指導教員を決定	指導教員は院生からの相談に助言する。
	個別面談、研究指導計画書作成・提出	研究指導計画書に研究題目および研究計画と研究指導計画を記入し、指定期日までに研究科長に提出する。
	～絵画総合演習の受講～年 3 回の外部講師によるレクチャーとディスカッション	履修登録時履修するよう促す。
4～8 月	グループディスカッション数回	学生教員間及び学生相互の対話
前期終了時	作品プレゼンテーション・講評	前期制作作品についての意見交換等を行う。
後期 9～1 月	両研究室とも作品制作・グループディスカッション数回	学生教員間及び学生相互の対話
12 月	小林和作奨励賞の応募	希望者が応募する。
後期終了時	講評会	後期制作作品を講評、意見交換等を行う。
2 年次	前期；自主制作 後期；修了制作	
前期 4 月	在学生オリエンテーション	大学院 2 年次での履修全般、授業内容、講評・年間スケジュールの説明。
	指導教員と副指導教員を決定	指導教員は院生からの相談に助言する。
	個別面談、研究指導計画書作成・提出	研究指導計画書に研究題目および研究計画と研究指導計画を記入し、指定期日までに研究科長に提出する。 副論文執筆から提出までのスケジュール等の確認と指導。
4～8 月	作品制作	適宜、進捗状況を確認。意見交換、指導等を行う。
6 月	進級制作展出品～大学美術館～	1 年次の制作活動を展示。全コース教員による講評を行う。
	個別面談・グループディスカッション	大学美術館での作品講評を踏まえ、今後の方向性について意見交換を行う。
前期終了時	作品プレゼンテーション・講評	前期制作作品を講評、意見交換等を行う。
後期 11 月上旬	修了制作プラン提出	修了制作のプランドローイングを共有し、検討する。
9～1 月	両研究室とも修了制作	適宜、修了制作の進捗状況を確認。意見交換、指導等を行う。
9～12 月	副論文指導	適宜、進捗状況に応じて副論文を指導する。
12 月	修了認定 修了の可否を判断	その年度毎に決められた 1 次提出日（1 2 月末）に修了制作を仮提出する。
1 月	副論文提出	論文担当教員による審査が行われる。
2 月	修了制作展出品～大学美術館～	大学美術館で作品展示の助言と確認をする。
	修了制作採点	修了制作作品を展示会場で、コース内全教員で審査する。
3 月	修了判定 学位（修士）の授与	

* 2 年間で修了のケースを示しています。

デザイン研究分野

年次・時期	研究指導スケジュール	研究指導概要
	デザイン研究	(指導教員を中心にその都度指導を行う)
1 年次	前期；自主制作 後期；自主制作	
4 月	新入生オリエンテーション	大学院での履修全般、講評・提出等スケジュールを説明する。
	研究対象等に基づき指導教員と副指導教員を決定	指導教員は院生からの相談に助言する。
	年間を通した制作の方向性を検討	指導教員とのディスカッションを通じて確認・助言する。
	履修計画・研究計画の作成	研究指導計画書に研究題目および研究計画と研究指導計画を記入し、指定期日までに研究科長に提出する。
4～8 月	作品制作の遂行	適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
前期終了時	講評	プレゼンテーションと意見交換等を行う。 ＊後期の研究計画の見直しを求める。
9～1 月	作品制作の遂行	適宜、進捗状況を確認。意見交換、指導等を行う。
12 月	(小林和作奨励賞の応募)	＊希望者が応募する。
後期終了時	講評	プレゼンテーションと意見交換等を行う。
2 年次	前期；自主制作 後期；修了制作	
4 月	在学生オリエンテーション	大学院 2 年次での履修全般、講評・提出等スケジュールを説明する。
	研究対象等に基づき指導教員と副指導教員を決定	指導教員は院生からの相談に助言する。
	年間を通した制作の方向性を検討	指導教員とのディスカッションを通じて確認・助言する。
	履修計画・研究計画の作成	研究指導計画書に研究題目および研究計画と研究指導計画を記入し、指定期日までに研究科長に提出する。
4～8 月	副論文指導	副論文執筆から提出までのスケジュール等の確認と指導。
	作品制作の遂行	適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
6 月	進級制作展 (大学美術館)	1 年次の制作活動を展示やプレゼンテーションを含む講評によって振り返り、今後の制作の方向性等を再検討する。 ＊事後に個別面談の機会を設定する。
前期終了時	講評	プレゼンテーションと意見交換等を行う。 ＊修了制作に向けての研究計画の見直しを求める。
9～12 月	作品制作の遂行	適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
	副論文指導	適宜、進捗状況に応じて副論文の執筆を指導する。 ＊10 月上旬頃に副論文の全体構想と章立ての確認と指導を行う。
12 月	修了制作の 1 次提出	所定の提出日 (12 月末頃) までに提出を求め、指導教員による審査を行う。
1 月	修了制作の最終提出	所定の提出日 (1 月中旬頃) までに提出を求め、指導教員による審査を行う。 ＊修了制作展での展示状態のチェックと確認を行う。
	副論文提出	所定の提出日 (1 月中旬頃) までに提出を求め、美術理論担当教員及び指導教員が審査する。
2 月	修了制作展 (大学美術館)	作品展示、ギャラリートークに関して助言等を行う。
3 月	修了判定 学位 (修士) の授与	

＊2 年間での修了のケースを示しています。

尾道市立大学大学院 事務局

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
TEL (0848) 22-8311 (代表)
(0848) 22-8381 (直通)
FAX (0848) 22-5460
<https://www.onomichi-u.ac.jp/>
(受付時間 平日 9:00~17:00)